

ドラウのしおり

ドラウの精神性

ドラウの根幹となっている感情は、誇り、怒り、恐れ の3つである。これらが複雑に絡み合い、彼らの独特な感情を形成している。

彼らは誇りと怒りゆえに多くを憎み、敵を作る。しかし恐れが働くため、自制心がある間はいへん慎重にことを進める。

誇り

ドラウは誰も自らこそが種族の規範たれという強い誇りを持つ。力はふさわしい努力をした強者が勝ち取る権利である。これに対して弱者は強者を失敗させ、追い落とすことでその座につこうとする。

怒り

ドラウはその誇りゆえに怒る。部下の失敗に、力なきあるじに、将来裏切る友に、服従せぬ異種族に。そして、彼らは満足な結果を出せなかった場合、自分にも怒る。

恐れ

ドラウはロルスや権力者など力あるものを怒らせることや、部下に裏切られることを恐れる。彼らが軽々しく凶暴性を発揮せず、常に力を求め続けるのはこの恐れによるものである。

ドラウの陰謀

ドラウは長命ゆえに、数百年、数千年というヒューマンなどより長い期間でものを考え、陰謀を巡らせている。

彼らの常套戦略は周到に布石を打った上で、いざ時が来れば一気呵成にことを運ぶ“待つて、急ぐ”である。

ドラウの男女

ドラウは女性優位の社会である。この理由として、ロルスが常に配偶者を利用して捨てていったという神話と、彼女が女性の司祭しか認めないことが無関係ではない。

しかし、ドラウの社会で女性が強大な権力を持ち続けるのもっとも大きな理由は、彼女たちが熾烈な権力闘争を行なっているという点にある。この争いに男性が参入することは単純に競争相手が倍になることで、この点でドラウの女性は現在の社会を維持するために協力する価値があるのである。

ドラウの男性が権力を得るためにもっとも順当な道は、秘術呪文使いか戦士として、教師か名家やロルスの女司祭の護衛となることである。特に実力あるものは戦となれば女性に並ぶ権限を得ることができる。

権力を持つ女性に接近して寵愛を得ることで二次的に権力を得ようとするドラウの男性もいる。こうした者たちは欲得ずくの関係がほとんどだが、非常に稀なことだが愛を育む者たちもいる。

ドラウの命名

ドラウは子の命名について無頓着な親が多い。そのため、成人したドラウの多くは自分で決めた名前を名乗る。

“語頭-語尾”の組み合わせが一般的だが、“語頭-語尾-語尾”や“語頭-語頭-語尾”など、複数組み合わせる者もいる。

語頭表

語頭	意味
アク(Ak)	隠れた
アム(Am)	美しい
アル(AI)	刃
ウェア(Wear)	観察者
ウム(Um)	氷、冷徹
ウルヴ(Ulv)	ウィザード
オル(OI)、オロ(Or)	(血縁のない)姉妹、兄弟
カル(Kal)	竜
シェリ(Shri)	(待ち伏せる)狩人
ズル(Xul)	デーモン
トゥー(Tlu)	真実
ドリス(Dris)	レンジャー
ナル(Nal)、ヌル(Nul)	古代の、古きもの
ハール(Hael)	自由、止まらざる
フィル(Fil)	闇、暗きもの
マ(Ma)	死
ミュル(Myrr)	女司祭
ミン(Min)	娘
ラウヴ(Rauv)	天井(すなわち空)
リル(Lir)	女王、支配者

語尾表

語尾	意味
アニス(-anis)	恐るべき
アラ(-arra)、アラル(-arral)	熱血、気まぐれ
イスト(-ist)、イズン(-isn)	姉妹(兄弟)
イリン(-irin)	夢、夢みる者
イン(-in)、イント(-int)	血縁(イントは近い関係)
ウイト(-uit)	アビス
ウル(-ul)	寺院の
ヴァ(-va)	幸運
エイン(-ein)	最初
エスリル(-esril)	ドラウ
オルグ(-olg)、オング(-ong)	門、門番
クルカー(-klkr)	静かな
ガー(-gar)	知恵
ストーン(-ston)	拳
トレ(-tre)	魔法の言葉
トン(-ton)、トム(-tom)	戦士
ディア(-dear)	世界
ネス(-neth)	中心
フェイン(-fein)	復習
リ(-li)、リム(-lim)	娘(息子)